平成25年12月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年８月９日

上 場 会 社 名	ダブル・スコープ株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	6619	URL	http://w-scope.co.jp
代　　表　　者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	崔　　元根
問合せ先責任者	(役職名) 取締役CFO兼経営企画本部長	(氏名)	竹居　邦彦　　(TEL) 03(5436)7155
四半期報告書提出予定日	平成25年８月９日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：有　(　機関投資家・アナリスト向け　)

(百万円未満切捨て)

１．平成25年12月期第２四半期の連結業績（平成25年１月１日～平成25年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第２四半期	1,031	△36.6	△291	―	△210	―	△183	―
24年12月期第２四半期	1,625	―	562	―	577	―	547	―

(注) 包括利益　25年12月期第２四半期　　214百万円(△63.4%)　24年12月期第２四半期　　585百万円(　　―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第２四半期	△12.91	―
24年12月期第２四半期	38.65	37.57

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第２四半期	10,296	8,580	83.2
24年12月期	10,106	8,355	82.7

(参考) 自己資本　25年12月期第２四半期　8,569百万円　　24年12月期　8,355百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年12月期	―	0.00			
25年12月期(予想)			―	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成25年12月期の連結業績予想（平成25年１月１日～平成25年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,481	6.7	△337	―	△243	―	△223	―	△15.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

連結業績予想の修正については、本日（平成25年８月９日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：有

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：有

④　修正再表示　　：無

会計方針の変更に関する注記

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期２Ｑ	14,171,600株	24年12月期	14,171,600株
②　期末自己株式数	25年12月期２Ｑ	―株	24年12月期	―株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期２Ｑ	14,171,600株	24年12月期２Ｑ	14,171,600株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社は、平成25年８月12日(月)に投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 ……10
（５）セグメント情報等 ……10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10
（７）重要な後発事象 ……10
４．補足情報 ……10
（１）販売の状況 ……10
（２）設備投資の実績値及び予想値 ……11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間の世界経済は、日本及び米国では回復基調に入る一方、欧州は引き続き景気は厳しい状況にあるなど全体としてみると未だ安定感のない状況でした。この様な背景の中で中国経済においては、成長率鈍化の傾向が明確になり、低調に推移しました。

当社グループの主力事業であるリチウムイオン二次電池セパレータ事業におきましては、民生用分野を含めセパレータ市場全体では需要の拡大は続いているものの、EV（電気自動車）などの輸送用機器の市場拡大が想定から乖離している事により未だ需給は軟調に推移しております。

当第２四半連結累計期間は、当社の売上の93.7%を占める中国市場で市場の繁忙期に入る事もあり、積極的な販売活動を行うと同時に顧客基盤の拡充に努めて参りました。具体的には中国の大手バッテリーメーカーである天津力神電池股份有限公司への販売を拡大、当第２四半期連結累計期間では売上の13.7%を出荷するなどの成果を上げております。なお米国市場では製品の出荷を再開、また日本ではサンプル出荷の段階であり双方とも限定されたものに留まっております。

分野別では民生用ではスマートフォン等の電池容量の増加にともなう仕様の変化に即した製品を国内外の顧客に提供すべく商談を活発化させております。しかしながら、未だ評価・交渉段階であります。EV（電気自動車）などの輸送用機器では市場の方向感が明確になるには未だ時間を要する一方でHEV（ハイブリッドカー）用途など将来の市場への準備を開始致しております。

平均為替レートにつきましては、当第２四半期連結累計期間の対米ドルが前年同期比で約15.71円円安の95.41円、対1,000韓国ウォンでは前年同期比で約16.7円円安の86.5円となりました。

このような環境のもと、売上高は1,031,462千円と(前年同四半期比36.6%減)となりました。また、営業損失は291,407千円(前年同四半期は営業利益562,172千円)、税金等調整前四半期純損失は210,713千円(前年同四半期は税金等調整前四半期純利益577,764千円)、四半期純損失は183,032千円(前年同四半期は四半期純利益547,778千円)となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における総資産につきましては10,296,387千円となり、前連結会計年度末に比べ190,353千円増加しました。主な要因は以下のとおりであります。

(資産)

流動資産につきましては4,880,116千円となり、前連結会計年度末に比べ331,511千円の減少となりました。これは主として、現金及び預金の減少467,850千円があったことによるものであります。固定資産につきましては5,416,271千円となり、前連結会計年度末に比べ521,865千円の増加となりました。これは主として、建物及び構築物の増加62,415千円、建設仮勘定の増加384,725千円によるものであります。

(負債)

負債につきましては1,715,637千円となり、前連結会計年度末に比べ34,994千円の減少となりました。流動負債につきましては1,631,205千円となり、前連結会計年度末に比べ159,330千円の増加となりました。固定負債につきましては84,431千円となり、前連結会計年度末に比べ194,325千円の減少となりました。これは主として、長期借入金の減少216,260千円によるものであります。

(純資産)

純資産につきましては8,580,750千円となり、前連結会計年度末に比べ225,348千円の増加となりま

した。これは主として、四半期純損失の計上183,032千円、為替換算調整勘定の増加397,131千円によるものであります。

キャッシュ・フローの状況について、当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ467,850千円(11.8%)減少し、3,492,277千円となりました。主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第２四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、100,583千円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純損失210,713千円、減価償却費282,147千円、たな卸資産の減少額92,299千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第２四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、407,024千円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出404,964千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第２四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、184,616千円となりました。これは主として、短期借入金の純増加額400,000千円、長期借入金の返済による支出584,416千円によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間の世界経済は、日本及び米国では回復基調に入る一方、欧州は引き続き景気は厳しい状況にあるなど、全体としてみると未だ安定感のない状況でした。この様な背景の中で中国経済においては、成長率鈍化の傾向が明確になり、低調に推移しました。

当社ではかねてより顧客基盤の多様化の為、顧客との交渉を積極的に行っておりますが、顧客との交渉の遅延、第２四半期連結累計期間で93.7%を占める中国市場において更なる景気減速による影響等を考慮すると、平成25年12月期において販売数量ベースで計画が下回り、かつ一段の単価の下落が想定されております。

一方、当社ではHEV（ハイブリッドカー）などの新たなアプリケーションへの取組に加え、リチウムイオンキャパシタ用のセパレータ市場などへの製品開発を本格化しております。これらの結果、今後製造原価の上昇などによる採算の悪化が想定以上に発生することが見込まれることから、連結業績予想の変更をいたします。

平成25年12月期の連結売上高は2,481百万円（前期比6.7%増）、営業損失337百万円（前期は392百万円の営業利益）、経常損失243百万円（前期は400百万円の経常利益）、当期純損失223百万円（前期は368百万円の当期純利益）となる見通しです。

なお、業績見通しの前提となる通期平均為替レートにつきましては対1米ドル95.0円、対1,000韓国ウォン88.3円を想定しております。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成25年１月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による影響額はありません。

４．四半期連結財務諸表
(1)　四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,960,127	3,492,277
受取手形及び売掛金	217,902	400,997
商品及び製品	865,821	805,588
原材料及び貯蔵品	82,797	116,639
その他	84,978	64,613
流動資産合計	5,211,627	4,880,116
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	928,897	1,021,959
減価償却累計額	△150,933	△181,579
建物及び構築物（純額）	777,963	840,379
機械装置及び運搬具	4,904,555	5,275,301
減価償却累計額	△1,364,830	△1,690,899
機械装置及び運搬具（純額）	3,539,724	3,584,402
建設仮勘定	464,449	849,174
その他	95,797	105,830
減価償却累計額	△51,206	△61,958
その他（純額）	44,591	43,871
有形固定資産合計	4,826,729	5,317,828
無形固定資産		
その他	20,401	20,400
無形固定資産合計	20,401	20,400
投資その他の資産		
投資有価証券	802	－
繰延税金資産	31,419	62,630
その他	15,053	15,412
投資その他の資産合計	47,275	78,043
固定資産合計	4,894,406	5,416,271
資産合計	10,106,034	10,296,387

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,232	20,023
短期借入金	1,000,000	1,400,000
1年内返済予定の長期借入金	325,591	－
未払法人税等	18,093	3,852
繰延税金負債	13,680	6,282
その他	109,276	201,046
流動負債合計	1,471,874	1,631,205
固定負債		
長期借入金	216,260	－
退職給付引当金	18,759	36,245
繰延税金負債	149	153
その他	43,587	48,032
固定負債合計	278,756	84,431
負債合計	1,750,631	1,715,637
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,119,445	4,119,445
資本剰余金	4,065,445	4,065,445
利益剰余金	△166,975	△350,008
株主資本合計	8,017,914	7,834,881
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	337,488	734,619
その他の包括利益累計額合計	337,488	734,619
新株予約権	－	11,250
純資産合計	8,355,402	8,580,750
負債純資産合計	10,106,034	10,296,387

(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	1,625,799	1,031,462
売上原価	758,754	949,979
売上総利益	867,045	81,482
販売費及び一般管理費	304,873	372,889
営業利益又は営業損失（△）	562,172	△291,407
営業外収益		
受取利息	1,766	551
為替差益	14,182	35,877
作業くず売却益	8,057	18,798
資産受贈益	2,436	25,562
その他	6,903	10,097
営業外収益合計	33,346	90,887
営業外費用		
支払利息	16,840	9,030
その他	914	1,163
営業外費用合計	17,754	10,194
経常利益又は経常損失（△）	577,764	△210,713
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	577,764	△210,713
法人税、住民税及び事業税	29,986	△27,681
法人税等合計	29,986	△27,681
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	547,778	△183,032
四半期純利益又は四半期純損失（△）	547,778	△183,032

【四半期連結包括利益計算書】
【第２四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	547,778	△183,032
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	37,654	397,131
その他の包括利益合計	37,654	397,131
四半期包括利益	585,433	214,098
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	585,433	214,098
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

(3)　四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	577,764	△210,713
減価償却費	178,874	282,147
受取利息及び受取配当金	△1,766	△551
支払利息	16,840	9,030
為替差損益（△は益）	△52,162	△164
売上債権の増減額（△は増加）	10,043	△179,564
たな卸資産の増減額（△は増加）	△204,877	92,299
仕入債務の増減額（△は減少）	11,682	21,848
株式報酬費用	―	11,250
未払金の増減額（△は減少）	△7,684	672
その他	21,180	98,984
小計	549,894	125,237
利息及び配当金の受取額	8,395	551
利息の支払額	△24,098	△5,358
法人税等の支払額	△51,378	△19,846
営業活動によるキャッシュ・フロー	482,812	100,583
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,441,033	△404,964
その他	△9,032	△2,060
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,450,066	△407,024
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	1,100,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△291,049	△584,416
その他	△12,789	△200
財務活動によるキャッシュ・フロー	796,161	△184,616
現金及び現金同等物に係る換算差額	53,290	23,207
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△117,801	△467,850
現金及び現金同等物の期首残高	4,961,468	3,960,127
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,843,667	3,492,277

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

当第２連結累計期間（自平成25年１月１日　至平成25年６月30日）

当社及び連結子会社は、リチウムイオン二次電池用セパレータ事業の単一セグメントであります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

該当事項はありません。

４．補足情報

（１）販売の状況

① 販売実績

当第２四半期連結累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

事業部門の名称	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）	
	販売高(千円)	前年同期比(%)
リチウムイオン二次電池用セパレータ	1,031,462	63.4
合計	1,031,462	63.4

（注）１　当社及び連結子会社は、リチウムイオン二次電池用セパレータ事業の単一セグメントであるため、販売実績は、セグメント情報に関連付けた記載を省略しております。

２　主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）		当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
東莞市旭冉電子有限公司	674,258	41.5	562,383	54.5
CoAsia Microelectronics corp.	230,106	14.2	―	―
天津力神電池股份有限公司	―	―	141,034	13.7

３　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

４　前連結累計期間の天津力神電池股份有限公司については、当該割合が100分の10未満であるため記載を省略しております。

（２）設備投資の予想値

設備投資の予想値

会社名	事業所名(所在地)	設備の内容	セグメントの名称	投資予定額		資金調達方法	着手年月	完了予定年月	完成後の増加能力
				総額(千円)	既支払額(千円)				
W-SCOPE KOREA CO.,LTD.	本社(大韓民国忠清北道清原郡)	第４号生産ライン及び第５号生産ライン	―	5,000,000	548,611	自己資金及び増資資金	平成24年５月	平成27年３月	生産量約50％増

（注）１　上記の金額には消費税等は含まれておりません。

２　当社の事業はリチウムイオン二次電池用セパレータ事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしておりません。